

第 201 回 日本材料学会 岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 23 年 4 月 15 日（金）11：00－17：00

場 所： 1. (独)日本原子力研究開発機構

東濃地科学センター 瑞浪超深地層研究所(立坑内見学)

2. 亜炭廃坑

出席者（敬称略）：大津宏康(委員長)，川本眺万，蔭 宇静，谷 和夫，寺田道直，笹尾春夫（幹事）

以上 6 名。

1. 見学

10:45 JR 中央本線 瑞浪駅集合
11:00-13:15 事業概略説明，立坑内見学，質疑応答
13:15-14:15 昼食，委員会
14:15～ 亜炭廃坑へ移動，坑内見学他
17:15 名古屋駅で懇親会開催，終了後解散

(1) 東濃地科学センター 瑞浪超深地層研究所

JAEA，佐藤稔紀氏より概略説明を受けた後，深度 300m ステージ，水平坑道(研究アクセス坑道)を案内いただいた。見学終了後，質疑応答。

(2) 亜炭廃坑

川本眺万先生，坂本昭夫氏(飛島建設)，御嵩町関係者の方々の案内で廃坑入坑，坑内の採掘跡，残柱の状態，アイダン・オメール先生の計測器設置状況等を見学した。その後，御嵩町内の地表面陥没による変状住宅周辺を見学し，御嵩町役場関係者の方々より状況説明を受けた。

2. 委員会報告・審議

(0) 前回議事録の確認----- (資料 1 頁)

笹尾幹事から前回議事録の説明があった。特に修正点は無く，承認される。

(1) 「材料」特集号発刊希望調査について----- (資料 3 頁)

笹尾幹事から，次々回岩石力学特集号の発刊希望を平成 26 年 3 月として学会へ返信した旨説明があった。また，次回特集号は平成 24 年 3 月発刊で，原稿締め切りは本年 7 月 10 日である旨説明があった。大津委員長より，特集号の上限は 90 ページであるため，8～10 編程度の投稿が必要との案内があった。

(2) 委員会事業報告，活動報告，事業計画について----- (資料 9 頁)

笹尾幹事より，それぞれ説明があり承認された。

(3) 22 年度決算，23 年度予算について----- (資料 13 頁)

笹尾幹事より平成 22 年度決算について，収支差額は-2,956 円であり，不足額は繰越金より補填する旨，

説明があり，承認された．また，23 年度予算額については，22 年度予算と決算を勘案して設定した旨，説明があり，了承された．

(4) 23 年度部門交付金および非会員データ管理料について-----（資料 15 頁）

笹尾幹事より 23 年度部門交付金額，非会員データ管理料について説明があった．材料学会非会員の部門委員会メンバーについては非会員管理料を本人負担いただくことで，継続とすることが承認された．

(5) 第 60 期学術講演会，オーガナイズドセッションについて-----（資料 17 頁）

笹尾幹事より学術講演会オーガナイズドセッションについて，開催日，プログラムの説明があった．また，特別講演で小林昭一先生が登壇される旨，案内があった．

(6) その他

笹尾幹事より，岩の力学連合会代議員として朝倉委員，寺田委員，平野委員 3 名を推薦した旨の報告があった．

次回開催日については委員長，幹事で調整し，案内することとする．